



心がほんわかと…

11月7日(金)は立冬。暦の上ではもう冬です。そんな季節の変わり目を感じさせるような冷たい雨が降る中、数多くの地域のおじいちゃんおばあちゃんに来ていただいて、児童会主催のまごころ集会を行いました。金管バンドの演奏に始まり、各学年の発表、恒例の肩たたき、ゲーム、和太鼓の演奏、そして児童劇や全員合唱と、盛りだくさんの内容であつという間に過ぎた2時間でした。おばあちゃんおじいちゃんに喜んでもらおうと、この日に向けて練習を重ねてきた子どもたち。笑顔のおじいちゃん、感極まって涙を流すおばあちゃんの姿から、子どもたちは頑張った良かったという思いを強くしたようです。と同時に、ほんわかとしたぬくもりが心に広がる楽しいひとときでもありました。

心を込めた肩たたき

○ まごころ集会にたくさんのおじいさんとおばあさんが来てくれました。ぼくが一番印象に残っていることは、肩たたきをしたことです。今年は6年生で最後なので、心を込めてたたきました。とても気持ちよさそうな顔をしてくれたので、ぼくもうれしかったです。これからは、まごころ集会以外でも肩をたたこうと思いました。

○ 一番心に残ったのは肩たたきです。理由は、ぼくの前の席に誰もいなかった時、となりのおばあちゃんが、「たたいて。」と向こうから言ってくれたからです。それに肩たたきが終わると、何回も、「ありがとう。」と言ってくれたからです。やったかいがあったなあと思いました。

ドキドキの学年発表

○ 5年生は歌とリコーダー演奏でした。『それは地球』と『気球にのってどこまでも』です。『それは地球』は、みんなでいっしょに歌う所と分かれて歌う所があります。私は、下のパートです。はじめはどのように声を出したらいいのか分かりませんでした。歌っているうち

にどんな音を出して歌うのか分かってきました。リコーダーは、低い音のレのはずが、高い音のレのように聞こえ、なかなかうまくいきませんでした。リコーダーの中をそうじしてふいてみると、ちゃんとしたレの音になってうれしかったです。はじめは速くてついていけなかったけど、家で練習したのでだんだん追いついてきて、今ではすっかりふけるようになりました。

さあ、いよいよまごころ集会の5年の番です。緊張しました。いつもより大きく歌いました。がんばって歌いました。歌とリコーダー演奏は大成功でした。おじいさん、おばあさん、そして全校児童のあたたかい拍手がともうれしかったです。今年のまごころ集会は、一番楽しい時間を過ごしたなと感じました。

家へ帰ると、おじいちゃんは、「楽しかったよ。」

と、喜んでくれてうれしかったです。また、歌やリコーダー演奏を、みんなの前で発表したいなと思いました。まごころ集会は、良い思い出になりました。

1年生、初体験!

○ 大きなこえで、うたをうたいました。おおぜいいたので、ちょっときんちょうしました。でも、がんばりました。すこしだけのどがいたかったです。

○ まごころしゅうかいには、おおぜいのひとがきてくれたのしかつたけど、ほんばんだつたからちょっとれんしゅうとちがうようでした。ほいくしよのねんちょうさんがきたから、ちょっとなつかしかつたです。

○ ばあば、きのうおこつたのに、きてくれてありがとう。ばあば、これからもながいきしてください。がけのうえのポニョがおわつてから、いっぱいはくしゅしてくれてありがとう。

年々孫も大きくなり、りっぱに成長していく事を楽しみに出席させていただきました。3年生の出し物は、おじいさんおばあさんが口ずさむ歌ばかりで、自分の小さいときが頭に浮かんできました。とても良かったです。全体的にも良かったですよ。一年後をまた楽しみに、健康でいたいと思います。